

育てよう
健やかに
支えよう
みんなで

地域で育てよう健全な青少年

由利本荘市8支部

- 本荘支部
- 大内支部
- 矢島支部
- 東由利支部
- 岩城支部
- 西目支部
- 由利支部
- 鳥海支部



会員募集

青少年育成由利本荘市民会議では、随時会員を募集しております。各地域教育学習課にお気軽にお尋ねください。

各支部の主な活動紹介

本荘支部

新駅舎となったJR羽後本荘駅東西自由通路で街頭啓発活動を行いました。11月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせて、支部役員がのぼり旗を設置し、通学中の高校生を中心にあいさつをしながらポケットティッシュを配布し青少年育成健全育成を呼びかけました。



矢島支部

矢島保育園の年長園児全員に卒園と小学校入学のお祝いを兼ねて、防犯用LEDライト付きのホイッスルを贈呈しました。矢島支部では、あいさつ声かけ運動などを実施し、子どもたちの安全な登下校を見守り、健全な成長を願って活動に取り組んでいます。



岩城支部

今年度は春と秋の2回、岩城中学校で啓発活動を行いました。登校する生徒にあいさつをしながらポケットティッシュを配布し青少年健全活動について呼びかけました。生徒の元気なあいさつが響き渡る清々しい朝となりました。今後も青少年の健やかな成長と明るい地域社会を目指して活動に努めて参ります。



由利支部

毎年、長期休みの前には子どもたちを温かく見守っていただけるように「しおり」を作成し、全戸配布を行っております。また、由利中学校の新1年生に防犯用具を贈呈するなど、子どもたちの豊かな成長・安心・安全のため、地域の方々のご協力を頂きながら活動しております。



西目支部

今年度の青少年健全育成活動の主な取り組みとして、「あいさつチャレンジデー」と題したあいさつ運動を、西目小学校及び西目中学校と連携して行いました。この運動は学校周辺だけでなく、西目子ども園前等でも実施しており、地域の方々へも積極的にあいさつ運動を行っております。今後も、明るい地域社会形成を目指し活動して参ります。



鳥海支部

今年度は「社会を明るくする運動」の一端として鳥海小中学校の全児童生徒を対象に啓発用品を配布いたしました。児童生徒のみなさんの健全な成長を願っております。また、毎年発行している「青少年ちょうかい」では、鳥海支部の活動、鳥海の子どもの活躍を紹介しております。



東由利支部

東由利中学校では、「花いっぱい運動」として学校周辺の花壇へ花を植える活動を行いました。生徒たちの手で、コスモスの種やペゴニアの苗などが植えられ、色とりどりの花が咲きました。今後もこうした活動を通して、子どもたちの健やかな成長と明るい地域づくりを支援していきたいと思っております。



大内支部

総会後に「大内中学校科学部」のみなさんから「日本一 ぶつうで おもしろい 科学部」という演題で発表をしてもらいました。コロナ禍での開催ということもあり、大内中学校からのリモート配信となりましたが、科学部のみなさんはハキハキとわかりやすく日々の研究成果について説明をしていました。講演会に参加した人は、内容が専門的で素晴らしいと関心しているようでした。今後も青少年の健やかな成長と明るい地域社会につながる活動を支援していければと考えています。



青少年健全育成秋田県大会に参加

11月9日に県庁第二庁舎で行われた青少年健全育成秋田県大会に東海林会長と岩城支部より委員が参加しました。青少年健全育成活動に取り組む各種団体の表彰、秋田県立図書館主任図書専門員による講話の後、わたしの主張2021-第43回少年の主張秋田県大会一最優秀賞の岩城中学校3年(吉田輝来良さん)によるスピーチ、代野音楽保存会(大館市)のみなさんによる芸能発表が披露されました。青少年健全育成活動に尽力されている方々の取組や自分の考えや日頃の活動の成果を堂々と主張したり披露したりする子どもたちの姿に感動し、私たちの活動の大切さを改めて実感することができました。



青少年の健やかな成長を願って
～由利本荘市青少年問題協議会～

地方青少年問題協議会法に基づき由利本荘市が設置しているもので、青少年の指導や健全育成のための総合的な施策の樹立に向けた活動がその目的で、市長が会長となっております。青少年に関する行政機関や関連団体代表者で構成されており、青少年育成由利本荘市民会議もこの中に含まれ、各団体と連携を取り合いながら活動しています。

青少年
ゆりほんじょう

第19号

発行 青少年育成由利本荘市民会議
事務局 由利本荘市教育委員会
生涯学習課
〒018-0692
由利本荘市西目町沼田字弁天前40-61
☎ (0184) 32-1332
FAX (0184) 33-2202

東京2020オリンピックに出場して

小野 祐佳



2016年9月29日の朝、一通のメッセージが届きました。「東京五輪に出場するために、もう一度選手をやらないか？」当時のわたしは、2012年のロンドン五輪出場を逃し、就職し、競技を引退していた身でしたが、日本代表チームヘッドコーチのメッセージに、何故か腑に落ちた感覚がありました。表現するのが難しいですが、自分の人生において五輪出場を叶えなければ、次のステージに進めないのだな、と。その日のうちに必要各所に連絡を入れ、勤務後はアクアパルで練習を始めていました。不思議なことに、練習を始める時点で、五輪でレースをする場面を明確にイメージできていました。読者の皆様も、人生のどこかで、宿命という言葉が正しいのかどうか分かりませんが、そういうようなことがあったのでは、あるいは、これからあるのではないかと思います。

多くのお力添えをいただき、コロナ禍のたいへんな状況であったにもかかわらず支えてくださった方々のおかげで、東京五輪に出場することができました。「緊張しましたか?」「プレッシャーはありませんでしたか?」とよく聞かれますが、自分を信じ抜き、皆様の応援の力を信じていましたので、不安からくる緊張やプレッシャーは一切なく、自分の力を全て出し切ることができました。「みんなが応援してくれる」「楽しみにしてくる」、文字通り受け取れば、これほど心強いことはありません。なにかに挑戦するとき、どんな状況下でも味方でいてくれる存在を忘れてはなりません。SNS上での誹謗中傷等、足を引っ張りた方ももちろんいますが、そういう方より自分を応援してくれる方の数は、遥かに多いです。家族、友人、職場の方々、チームスタッフ、陰ながら支えてくださった方、多くの方々に恵まれたおかげで、わたしは五輪出場を叶えることができました。自国開催五輪出場の得難い経験を活かし己を信じて生きていくこと、互いを応援し合い、助け合うことができる社会に貢献していきたいと思っております。



写真：共同通信

★学校紹介★ 小友小学校の子どもたち

新生小友小学校 「人権の花」運動

小友小学校長 阿部 亨

今年度、秋田県中央地域人権啓発活動ネットワーク協議会が実施する「人権の花」運動の対象校となりました。この運動の趣旨は、「次代を担う子どもたちが、互いに協力し合いながら花を育てることによって、生命の尊厳を実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得するとともに、子どもたちが育てた花を地域の人たちに観賞してもらうこと等により、家庭や地域社会に一層の人権尊重思想の普及高揚を図ることを目的とする。」です。そこで、本校では…



縦割り班で花植えをする子どもたち

学校での活動

12ある縦割り班ごとに2つのプランターに土を入れ、ペゴニアとニチソウの花を植えました。高学年がリーダーとなって仲よく上手に植えました。植えたプランターを玄関に運び、5年生が水かけをして完成。翌日から当番学年が水かけをしました。

地域での活動

6年生が小友方面と石沢方面に分かれ、保育園や公民館、郵便局、駐在所、介護施設等に行って花を植えました。一緒に植えたり、植えるところを見ていただいたりして、地域との交流も深めた活動になりました。

6年生の感想より

「入所している方々が、お礼に歌を歌ってくれました。うれしくて泣いている方もいました。それを見て私もうれしくなりました。『今日のようなみんなのためになるような活動は続けたいと思ったし、地域を元気にできるようにこれからもがんばりたいと思いました。』

今後も、子どもたちの願いを大切にしながら、地域とともにある学校を目指していきます。

由利本荘市「青少年の健全育成」に関する標語コンクール

青少年育成由利本荘市民会議が、青少年の健全育成に関わること（あいさつ、いじめ防止、防犯、きまり、環境問題 等）をテーマとして標語コンクールを行いました。
市内の小学生4年以上、中学生全学年が取り組みました。

標語応募総数

- ・小学校 1,569点
- ・中学校 1,250点

たくさんの応募ありがとうございました。

小学校の部



最優秀賞		【敬称略】	
未来まで すてきな景色 つなごうよ	………	小友小6年	小松
優秀賞			
マスクでも 笑顔あふれる あいさつを	………	尾崎小6年	眞坂
大事だよ 相手を思う その気持ち	………	西目小6年	佐々木
佳作			
本当に 電話相手は 家族かな	………	新山小6年	五十嵐
いってらっしゃい 母の笑顔に 心がはずむ	………	由利小5年	熊谷
あいさつで 地域の絆 深めよう	………	鳥海小6年	佐藤
入選			
温暖化 止めて救おう この地球	………	鶴舞小6年	砂川
きけんだよ 歩きスマホは 命とり	………	子吉小4年	山崎
危ないよ その一言で 守られる	………	矢島小5年	小番
通学路 明るい朝を あいさつで	………	岩城小6年	佐々木
エコ活動 地球を守る カギになる	………	東由利小6年	佐々木
目を合わせ 元気な声で あいさつを	………	岩谷小6年	伊藤
しっかりと 戸じまりしてから 出かけよう	………	大内小6年	佐々木

中学校の部



最優秀賞		【敬称略】	
そのいじめ するなさせるな 加わるな	………	西目中3年	佐藤
優秀賞			
大丈夫？ 送信ボタンを 押す前に	………	矢島中3年	土田
そのLINE 本人見たら どう思う？	………	本荘東中1年	神坂
佳作			
その行動 してもいいの？ 見極めて	………	鳥海中3年	小沼
見てるのに 見てないなんて 言わないで	………	本荘北中3年	藤原
それはだめ 友にも言える 勇気まる	………	由利中3年	渡部
入選			
気をつけて いじめにつながる その一言	………	本荘南中1年	熊谷
人生は イジメ1つで 変わるもの	………	岩城中1年	佐々木
やめてくれ みんなの気持ちを よごすこと	………	東由利中2年	小野
戻れない ネットの書き込み 注意しろ	………	大内中2年	田口

秋田県「青少年の非行・被害防止」

標語コンクール

このコンクールは、秋田県・公益社団法人青少年育成秋田県民会議が平成29年度から実施しているもので、7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」を啓発することを目的としています。

県内48中学校から2,655作品の応募があり、審査の結果、入賞10作品（最優秀賞1、優秀賞3、優良賞6）の中に、由利本荘市から4作品が入るといすばらしい結果でした。

また、本荘南中学校は第1次審査通過100作品（入賞10作品含む）に20作品が入り、学校賞を受賞しました。

本市の入賞者の皆さんをお知らせします。おめでとうございます。

最優秀賞

ごめんねと 素直に言える 強い人
由利本荘市立本荘東中学校1年 小松 さん

優秀賞

その情報 嘘か本当か 確かめた？
由利本荘市立本荘南中学校1年 小松 さん

「1度だけ…」 人生だって 1度だけ
由利本荘市立本荘南中学校1年 正木 さん

SNS 指一本で 変わる未来
由利本荘市立大内中学校3年 打矢 さん

学校賞 由利本荘市立本荘南中学校 ☆第1次審査通過 20作品



表彰式 7月28日(水)秋田県庁「正庁」

令和3年度 わたしの主張2021 - 第43回少年の主張秋田県大会 -

9月15日(水)に秋田県と青少年育成県民会議、国立青少年教育振興機構が主催する標記大会のビデオ審査が行われ、県内の発表者13名の中から岩城中学校3年吉田輝来良さんが最優秀賞に選ばれました。大会は次代を担う中学生に広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく伝える力などを養ってもらおうと毎年開催されています。今回は、コロナウイルス感染防止のため観客の前での発表を行わず、事前に収録した映像の審査を行いました。最優秀賞を受賞した吉田さんの発表内容を紹介します。

最優秀賞 多様性の海へ 岩城中学校3年 吉田 さん



多様性の海へ

岩城中学校3年 吉田

貴方は、男性ですか？女性ですか？

私は、この質問をされると、少し喉がぎゅっとするような感覚になり、心の中で「私は私だ。」と返します。そう思うようになったきっかけは、2015年の春に、埼玉に引っ越し、とても大切な2年間を埼玉で過ごしたことです。そこでの出会いを通して、新たな発見や学びがたくさんあり、私自身の価値観や考えにも大きな変化がありました。

小学4年生までの私は、勉強が嫌いで、自分の中でおかしいことではないと思っていたことが、周りにはおかしく見えていて、「輝来ちゃんって不思議だね」と言われても、自分自身ながら不思議でおかしいことなのか、わかっていませんでした。ただ自分は、ほかの子たちとは違うという、漠然とした居心地の悪さをおぼえていました。そして転校初日、不安いっぱい緊張していた私を迎えてくれたのは、個性豊かな人達でした。一つのグループや一つの型にはまらず、それぞれが自分を表現し、理解し合っている。その間柄、空間が新しく、とても居心地がよかったです。時に意見の対立が起きたとしても、自分にはなかった新しい考えとして、互いに評価し尊重していた姿がかっこよく見えて、自分でも、もっと表現したいと思わせてくれました。違うことが当たり前の世界に出会って、かえって協力して物事に取り組むことの楽しさや素晴らしさを感じるようになりました。

私は、性的少数者のパンセクシャルにとっても近いと思います。パンセクシャルとは、あらゆるすべての人達を隔たりなく愛することのできるセクシャリティのことです。私自身が初めてLGBTQについて調べ、これかもしれないと思ったとき、難しい言葉で囲われていて、その部分でも、私はおかしくて恥ずかしい性質を持っているのかなと思いました。そんな時に会ったのが、YouTuberでもある、けみおさんのツイートでした。

「女性や男性、誰がどの性と恋に落ちようと愛し合おうと、その愛の形におかしいとシールを貼り付けようとするなんて、間違っている。と言うか、秒で進む時代がそのシールをすぐに破棄しちゃうよ。愛の形は無量大で空よりでえんだー。」

この言葉に、みんなそれぞれ違うけれどおかしいことではなく、その人自身の魅力や特徴だと気づき、安心しました。私自身がパンセクシャル、性的少数者という言葉やその分類に、括り付けられていたのかもしれない。

いつのまにか、無意識のうちに使ってしまった言葉も、時には私達の心をはたいています。「男らしい・女らしい」という言葉もその一つです。メイクアップアーティストで僧侶の西村宏堂さんは、「人の性格や人となりを性別で表すことはできない。「パワフルな人だ」「すごく柔らかな人」など、性別のない形容詞を使うことで、みんなが自由に生きられる。」と述べていました。

多様性の時代とよくいわれます。LGBTQのように、いろいろな言葉で説明され、分類されていますが、自分の「性」に何も疑問をもたず、男女で分類されたり順序だてされたりすることに慣れてしまっていることも事実です。私は自分に自信がなくて不安だったけれど、違うことが当たり前で個性豊かな人たちとの出会いで世界が広がりました。

一人一人の新たな発見から偏見をなくし、「自分らしさを殺さない」そんな世の中にしていきたいです。私はこれからももっともっと学んで、パワーアップした姿で、いつか彼らに再会したいと思います。

最初の質問に改めて答えます。
「あなたは男性ですか。女性ですか？」
「私は私、吉田輝来良だ。」



令和3年度 わたしの主張2021 第43回少年の主張秋田県大会県央地区予選大会

9月9日(木)に県央地区予選大会（主張発表ビデオ審査会）が行われ、本市の4名の生徒が熱弁を振るい、次のようなすばらしい結果となりました。受賞、おめでとうございます。

優秀賞	多様性の海へ	岩城中学校3年 吉田 さん
優良賞	不平・不満とどう向き合うか	西目中学校3年 今藤 さん
優良賞	今、悩んでいるあなたへ	大内中学校3年 宮崎 さん
優良賞	自分を表現する勇気	本荘東中学校3年 高橋 さん



11月9日に行われた青少年健全育成秋田県大会で吉田さんが発表しました